

九州ジュニア(U-12)サッカーへ出場



3月2日(月)、「フジパンCUP 第46回九州ジュニア(U-12)サッカー大会」に出場する、エスペランサ

FCの屋富祖正也さん(はごろも小6年)、屋富祖悠斗さん(はごろも小5年)、伊芸凜さん(はごろも小5年)が、佐喜真市長を訪問しました。3人は、「最後まであきらめず全力で臨み、優勝を狙いたい」と語りました。

ジュニアゴルフチャンピオンシップ決勝大会



2月25日(水)、「タイガー魔法瓶presents 石川遼カップジュニアゴルフチャンピオンシップ決勝大会」に出場する、又吉鷹丸さん(大山小6年)が、佐喜真市長を訪問しました。気温2℃の中で予選を戦ったという又吉

さんは「苦手なクラブは特にはない。全力を出している結果が報告できるよう頑張りたい」と意気込みを語りました。



市内小学校で卒業式

3月23日(月)、市内小学校にて卒業式が行われました。今年度開校したはごろも小学校では、第1回卒業式が行われました。卒業生は「はごろも小学校での1年間の思い出と新たな希望を胸に中学校に進学します。ここまで励まし育ててくださったお父さんお母さん、ありがとうございます」と述べました。また、お世話になった先生方や在校生へ感謝の気持ちを伝え、感動的な卒業式になりました。



こみゆにてい 見聞録

地域のいろいろな話題を紹介します。

ボランティア活動を報告



2月27日(金)、社会福祉センターにて「ボランティア活動推進校およびボランティア団体実践報告会(市社会福祉協議会、市ボランティアセンター主催)」が行われました。社協へ登録しているボランティア活動推進校とボランティア団体を代表して4団体が一年の集大成として活動報告を行いました。

【ボランティア活動推進校】市内の保育園(所)、幼稚園小・中・高等学校を「ボランティア活動推進校」として指定し、子どもたちへの思いやりの心を育むことを目的に活動しています。

【ボランティア団体】自発的な意思に基づき他人や社会に貢献する団体を「ボランティア団体」として指定し、活動の主体性や自主性を尊重しながらボランティア活動を行っています。

シルバー人材センターが清掃活動

3月14日(土)、市シルバー人材センター(宮里憲輝理事長)が、佐真下公園周辺で、道路の清掃や、植え込み部分の清掃・除草作業を行いました。これは、シルバー事業の普及啓発を図る目的で、年2回行われているボランティア活動です。70名の会員が汗を流し、2時間余りで見違えるほどきれいになりました。地域の方からは、「おかげで通りがすばらしくなった」と喜ばれました。

西海岸地区で地震・津波避難訓練を実施



2月21日(土)、市の西海岸地区において、地震・津波避難訓練が実施されました。対象地域は、伊佐区、真志喜区、大山区、宇地泊区、大謝名区、大謝名団地(炊き出し訓練)、上大謝名および嘉数ハイツの自治会で、東日本大震災の教訓を踏まえ、地震・津波に対する防災意識の啓発や津波避難体制の向上を図ることを目的とした訓練で、多くの市民が参加して行われました。

大山地域では、大山ゲートから佐真下ゲートまで基地内を通るなど、米軍と津波発生時における基地内通行に関する協定を踏まえた避難訓練を行いました。

宇地泊地区で地域支え合い活動



3月3日(火)、地域支え合い活動の一環として「花いっぱい運動」が開催されました。今回は、市道宇地泊真志喜2号の沿道に老人会、婦人会の地域ボランティアと約100人の大謝名小学校5年生の児童が一緒になって花植え作業を行いました。子どもたちに指導したり配置を一緒に考えたりと、終始和やかで笑顔が絶えない楽しい地域交流となりました。地域と小学校の共同による花いっぱい運動は、今年で6回目を迎えました。児童からは「いつも地域のために花の手入れをしてくれてありがとうございます」と感謝の言葉がありました。



災害時におけるLPガスの供給に関する協定



3月2日(月)、市と一般社団法人沖縄県高圧ガス保安協会LPガス部会(渡口彦則部会長)は災害時におけるLPガスの供給に関する協定を結びました。この協定は災害時に被災した市民等に対して迅速かつ確かな支援活動を遂行して市民生活の安定に貢献することを目的としています。LPガスは分散・自立型のエネルギーであることから、各家庭のみならず避難所や仮設住宅等においても、調理、給湯、暖房等のエネルギー源として活用されることが期待されます。渡口部会長は「災害時の事前取り決めをした今回の協定は、ライフラインの強化のために大変意義深い」と語りました。

「電話お願い手帳」「ふれあい速達便」を寄贈



2月27日(金)、NTT西日本沖縄支店(上野睦弘ビジネス営業部次長)が、耳や言葉の不自由な方が近くの方へ協力をお願いするときに利用できる「電話お願い手帳」と「ふれあい速達便」を宜野湾市と宜野湾市社会福祉協議会(普天間朝光会長)へ寄贈しました。これはNTTが福祉サービスの一環で昭和58年から行っています。

沖縄計測から寄付金贈呈



2月27日(金)、株式会社沖縄計測(玉城幸人代表取締役社長)から寄付金の贈呈がありました。同社からは、教育関連事業に活用してほしいと要望がありました。

防災行政無線放送が屋外放送後24時間以内において確認できます。 ☎ 896-2401